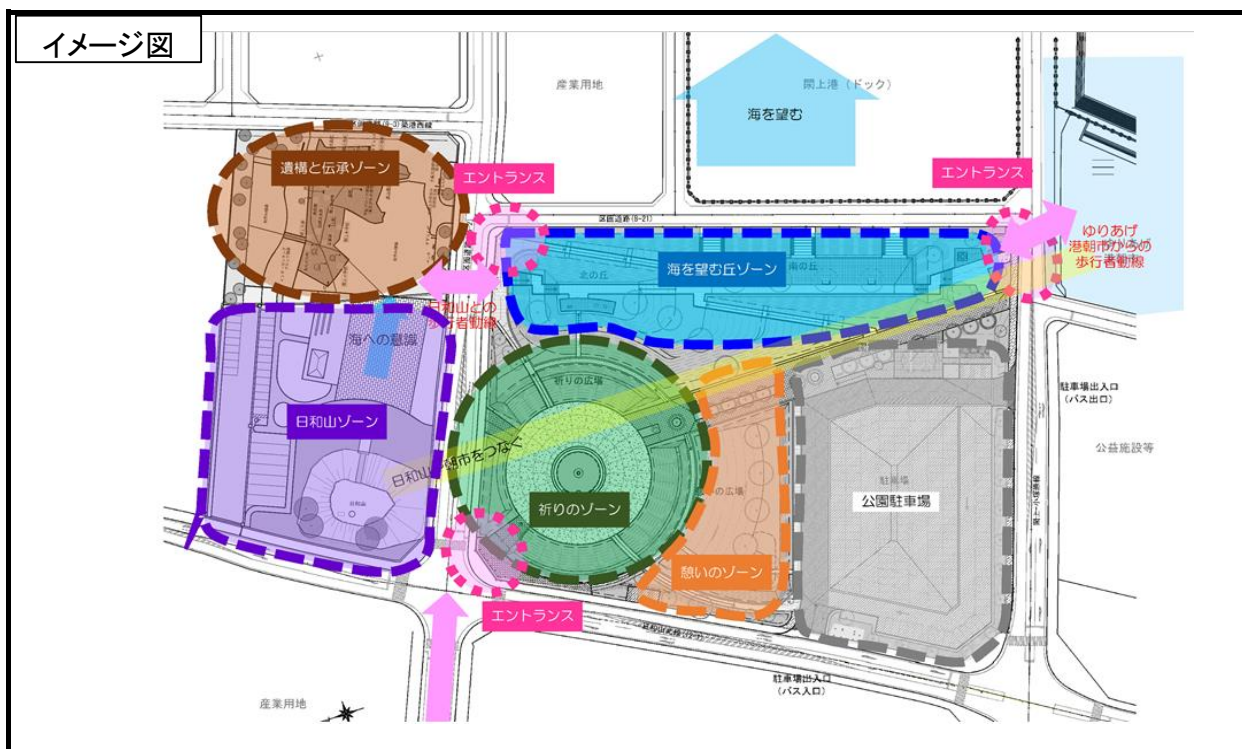


事業名

震災メモリアル公園整備事業

No	37
事業名	震災メモリアル公園整備事業
概要	震災の教訓継承と被害を受けた市民の方々の心を癒す空間整備とともに、未来に向かい地域活力の源となる空間として、閑上五丁目地内の震災慰霊碑及び閑上四丁目地内の日和山を中心としたエリアに市民参画により震災メモリアル公園の整備を行うもの。
箇所名	閑上五丁目1番地内ほか
事業施行期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度
工事概要	1) 計画予定面積 約3.35ha 2) ゾーニング予定 ①祈りのゾーン ②憩いのゾーン ③遺構と伝承ゾーン ④海を望むゾーン ⑤日和山ゾーン
全体事業費	343,600,000円
事業担当	名取市震災復興部復興調整課 022-290-2085

現在の状況 (H30.3.31現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・復興交付金を活用し基本計画を策定 ・平成27年度において、市民シンポジウム、市民ワークショップ(3回)開催 ・平成28年度 基本設計 ・平成29年度 詳細設計
今後のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 事業着手 ・平成31年5月 供用開始予定



名取市震災メモリアル公園 実施設計案

A : 公園本体部	23,000 m ²
B : 遺構と伝承ゾーン	4,500 m ²
C : 日和山ゾーン	6,000 m ²
合計	33,500 m ²

遺構と伝承ゾーン【約 4,500 m²】

- 被災前の閑上地区を震災がれきを再利用した舗装材で表示し、震災遺構（すずらん灯、閑上五差路のフレーム等）を展示する。
- ベンチ、説明版を適宜配置する。

海を望む丘ゾーン【約 7,200 m²】

【北の丘の高さ GL+4.5m】【南の丘の高さ GL+4.0 m】

- ゆりあげ港朝市と遺構と伝承ゾーンとを直線でつなぐ連絡導線を設置し、丘として公園が守られている雰囲気を創出
- 丘は、日和山を越えない範囲で、かつ海沿いに設置される堤防を越えて広浦を眺められる高さに設定し、園内や市内遠望・広浦の風景を楽しむ憩いの



大型テントのイメージ



トイレのイメージ

休憩施設【約 650 m²】

- 雨天時においても語り部と共に集うことが可能な大型テントを主動線沿いに設置
- トイレなど、日常の公園利用者に必要な施設を併設
男子：小2穴、大1穴、女子：3穴、多目的：1穴

主園路【約 1,400 m²】

- 祈りの広場・日和山と朝市を結ぶ公園の主動線
- 朝市と日和山をつなぐ景観軸を形成

駐車場【約 6,370 m²】

- 大型車：4台
- 普通車：190台



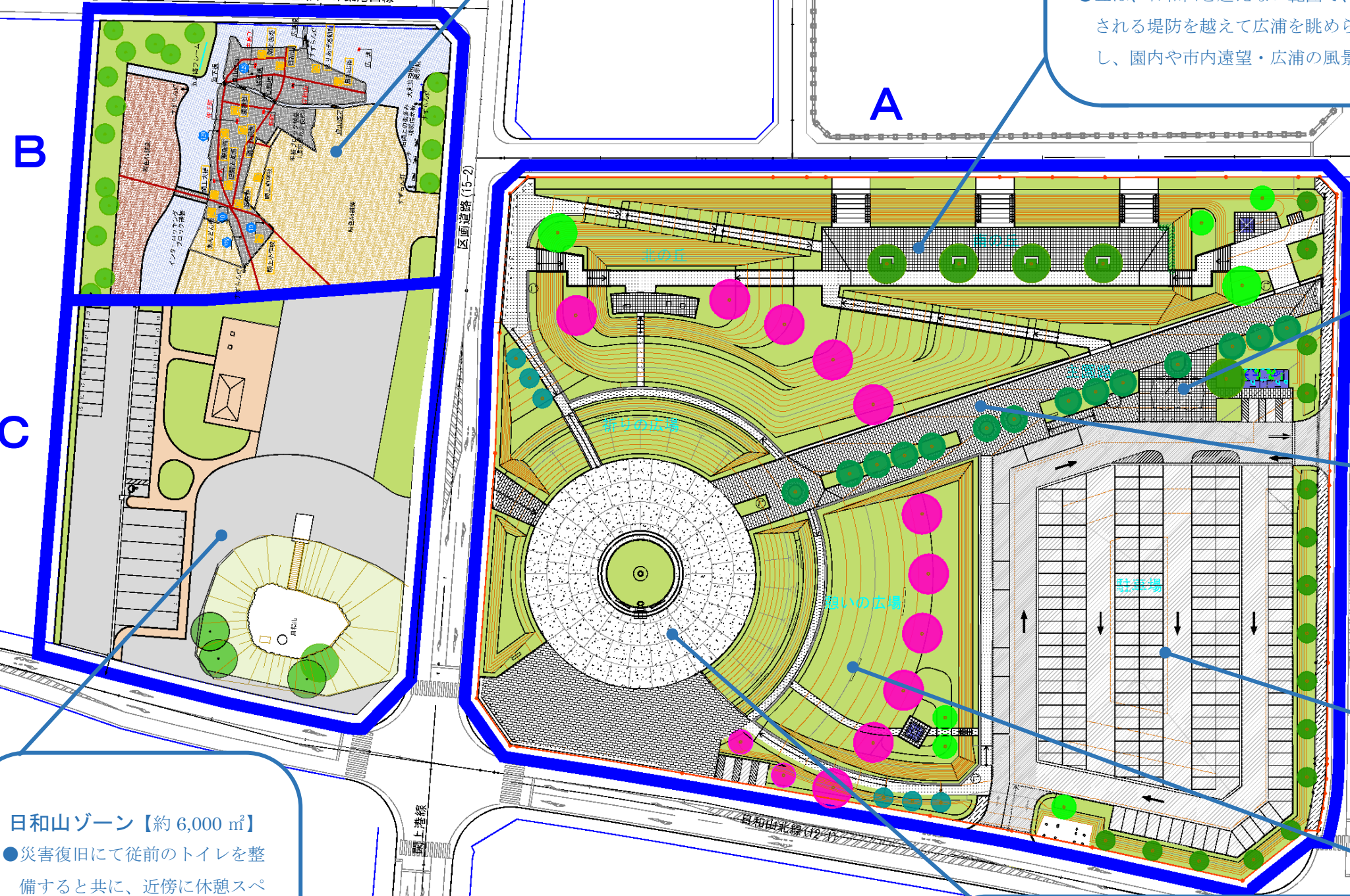
主園路のイメージ

祈りのゾーン【4,630 m²】

- 慰霊碑（現地）を360度拝めるような円形広場
- 祈りのゾーンの周囲に土塁（H=1.2m）で同心円状に囲むことで、円形広場の領域性を表現
- 広場は、透水性コンクリート舗装で領域性を創出
- 芳名板は、重量感のある石材で改修整備

憩いのゾーン【約 2,750 m²】

- 日常の憩いに気軽に通行できる園路を通し、多目的に利用できるベンチやあずまやを設置
- 周囲（駐車場との境界部など）と慰霊の空間の範囲を明瞭に示すための緑地（低木・高木）を円形に配置



日和山ゾーン【約 6,000 m²】

- 災害復旧にて従前のトイレを整備すると共に、近傍に休憩スペースも整備
- 日和山への来訪者に対応した駐車場を整備
大型車：7台、普通車：23台、身障者用：1台



日和山



名取市東日本大震災慰霊碑